

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

杉並清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
38	2号炉	休炉	H23.10.18	9:00	H23.10.22	20:00	運転委託の点検でシュートが閉塞しているとの報告があったので、職員にて再点検を行った結果、閉塞と判明したので安全作業要領に基づく解除作業を行うために炉を立ち下げた。
15	1号炉	-	H23.5.25	4:15	H23.5.25	10:15	塩化水素除去設備の補機冷却液ポンプBが故障停止し塩化水素除去設備がバイパスに切り替わったため緊急立ち下げを行った。
8	1号炉	-	H23.4.26	9:00	H23.4.26	13:30	1号灰コンベヤ チェーン貼り調整用軸受の不良を発見したため立ち下げた。

光が丘清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
42	2号炉	休炉	H23.11.9	18:20	H23.11.19	7:47	2号ろ過式集じん機入口ガス温度“L”発報。減温水流量が調整できないので焼却炉を立下げた。
41	1号炉	-	H23.11.9	1:08	H23.11.9	23:00	「1号ボイラ下ロータリーバルブ(1)」警報が発報した。現場にて復旧作業を試みたが解除できなかったため、焼却炉を立ち下げた。
25	1号炉	休炉	H23.7.18	0:35	H23.7.25	23:05	「1号ガス再加熱器差圧”高”」警報が発報した。ガス再加熱器下のフィンチューブ間への異物の詰りが推測され、異物を除去するために焼却炉を立ち下げた。
20	1号炉	休炉	H23.6.11	23:25	H23.6.16	18:07	「1号炉シフティング異常」警報が発報した。灰の堆積を推測し、シュート部を槌打するも解消できないため焼却炉を立ち下げた。

大田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
47	2号炉	休炉	H23.12.3	6:49	H23.12.7	15:05	2号炉飛灰空気輸送装置故障発報(ブロータンク圧力高及びタンクレベルH)。輸送配管及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
10	1号炉	休炉	H23.5.1	18:01	H23.5.27	9:27	1号炉飛灰空気輸送装置故障発報(輸送弁故障及びタンクレベルH)。輸送弁動作状況確認及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。

目黒清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
59	2号炉	休炉	H24.1.9	22:45	H24.1.11	7:41	2号主灰シュートにクリンカが落下した。これにより2号主灰シュート水冷ジャケットへの給水配管が破損した。補修を検討したが、クリンカがその後も落下しており、また深夜であることから立ち下げた。
17	共通	休炉	H23.5.28	7:51	H23.5.31	14:50	計装用分岐盤(BL 16盤)のMCB52LF112(一般計装用電源)の漏電によりMCBがトリップしたため、ごみクレーン、灰クレーン、ITVモニタ、アンモニア注入ポンプが停止した。このため、1、2号炉を立下げた。

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

有明清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
68	共通	-	H24.3.26	0:37	H24.3.26	12:18	3月26日(月)0時37分にタービン発電機界磁喪失したためタービントリップが発生した。その後、0時52分から1時40分にかけて4回立ち上げを試みるが即AVR故障が発生し、タービンを立ち上げることができなかった。
67	1号炉	休炉	H24.3.13	14:19	H24.3.17	13:11	1号炉SGH戻り配管の脱気器入口付近エルボ配管から蒸気漏れを発見した。脱気器は共通設備であり、当該漏れ箇所は、元弁と脱気器の間に位置するため、全炉停止して補修を行う。
66	1号炉	休炉	H24.3.7	16:30	H24.3.13	12:55	1号炉の2パス3パスのNo.2ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。
57	1号炉	休炉	H24.1.4	7:00	H24.1.12	13:14	2パス3パスのNo.2側ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。
24	1号炉	休炉	H23.7.7	12:10	H23.7.22	14:04	ボイラ下シュートの灰詰まりもしくはロータリーバルブの噛みこみによりロータリーバルブが停止した。
22	1号炉	休炉	H23.6.22	18:26	H23.6.24	14:15	ロータリーバルブに耐火物が噛み込んだことによりロータリーバルブが停止した。
18	共通	休炉	H23.5.28	4:00	H23.5.31	10:45	高圧蒸気溜め上部入口弁フランジ部、及び抽気蒸気溜めマンホールより蒸気漏れ発見。1号炉をシーケンスにより立下げた。
6	共通	停止	H23.4.19	7:08	H23.4.19	20:20	蒸気タービン発電機AVR故障の為、発電機トリップした。発電機室励磁機盤内AVR故障、復帰ボタンを押してタービン起動シーケンスを開始したが再びAVR故障で発電機トリップした為、タービンを停止した。

千歳清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
62	1号炉	休炉	H24.1.22	22:02	H24.1.24	1:59	平成23年12月29日の誘引ファン回転数制御装置の故障時にデジタル調節計の交換を行ったが、周波数変換器の不具合が判明した。年末で部品調達に時間がかかるため、中央制御室から手動で回転数を操作できるように仮補修を行い焼却炉を立ち上げた。
54	1号炉	休炉	H23.12.29	5:45	H23.12.30	2:39	誘引ファン回転数制御装置の故障により、誘引ファンの制御ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
45	1号炉	休炉	H23.11.4	17:00	H23.11.22	13:26	蒸気式空気予熱器から復水タンクへの復水戻り管にドレン漏洩が発生し、その後漏れ量が増加傾向が見られたため、焼却炉を停止した。
21	共通	停止	H23.6.21	4:34	H23.6.21	20:30	2号ごみクレーンが積替中に6番ゲート(A-6)付近で自動停止し電源が落ち、再投入が出来ず、運転不能となった。

江戸川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
61	2号炉	休炉	H24.1.17	7:30	H24.1.19	13:28	立ち上げ運転時に、脱気器入口逆止弁本体とふたのガスケット部から、蒸気漏れがあり、2号炉を立ち下げた。
52	1号炉	休炉	H23.12.13	10:30	H23.12.2	13:41	1号 2ボイラ給水ポンプの吐出弁フランジ部より水漏れ発見。補修のため立ち下げた。
36	2号炉	休炉	H23.10.10	9:30	H23.10.14	11:30	ボイラドラム付レベル発信器用元弁の弁箱(ボディ)の破孔部より少量の白煙(蒸気洩れ)を発見した。弁交換のため2号焼却炉を立ち下げた。
5	1号炉	休炉	H23.4.18	15:00	H23.4.28	12:10	ボイラ出口圧力の低下(ボイラ内圧損が上昇)を確認し推移を観察していたが、ボイラ出口圧力がさらに低下しているため、焼却炉を停止し、清掃を実施する。

墨田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
44	1号炉	休炉	H23.11.17	18:27	H23.11.20	13:06	No.1減温塔ダスト搬出装置異常(スクレーパコンベヤ過負荷)多発。減温塔内部及び、ノズルの調査を行うため焼却炉を立ち下げた。
11	共通	停止	H23.3.22	15:00	H23.5.1	14:20	タービン出力に制限がかかり、正常に上昇しなかった。蒸気加減弁内部の不具合が考えられるので、点検のためタービンを立ち下げた。

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

北清掃工場

故障による休炉なし

新江東清掃工場

故障による休炉なし

港清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
28	3号炉	休炉	H23.7.28	21:20	H23.8.6	9:52	飛灰搬送用切替コンベヤが故障停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧量過多により、集合コンベヤから混練装置まで飛灰が固着していたので、復旧するため焼却炉を立下げた。

豊島清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
60	2号炉	休炉	H24.1.16	11:00	H24.1.25	5:15	焼却炉本体とS-3ノズル支持用鋼材貫通部の隙間から、火の粉や燃焼ガスの漏洩を確認した。耐火材が損傷していると考えられるため、焼却炉を立ち下げて確認を行う。

中央清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30			1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
69	1号炉	休炉	H24.3.26	23:11	H24.3.30	10:31	「1号ボイラ灰搬出装置 異常」が発報し、現場で異物(スプレー缶、クレンカ)詰りが確認され、除去作業を行ったが、スクリーコンベヤの正転・逆転が行えないため、焼却炉を立ち下げる。

渋谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
9	1号炉	休炉	H23.4.28	16:10	H23.5.10	7:52	蒸気式ガス再加熱器(SGH)への蒸気流入量が著しく増加した。また、純水補給量も増加したことにより、SGH内部の異常が予見されたため、焼却炉を停止した。

板橋清掃工場

故障による休炉なし

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
26	2号炉	休炉	H23.7.25	11:30	H23.7.30	9:34	2号 2自工場主灰コンベヤがトリップしたため、解除作業を行ったところ乾燥帯部分のものと思われる火格子が発見された。補修作業を行うため焼却炉を立ち下げた。
23	2号炉	休炉	H23.6.28	21:03	H23.7.1	2:20	2号焼却炉のストブロー、飛灰装置、減温塔、集塵機の制御を調整する中央監視盤PLCの異常アラームが多発し、減温塔のエアと水の噴霧不具合等が生じた。
19	共通	停止	H23.1.19	15:35	H23.6.1	19:21	1月19日に発生した比率差動継電器の誤動作による蒸気タービン発電機重故障について、調査の結果交換を行うことになった。
2	共通	停止	H23.4.3	18:30	H23.4.5	18:50	点検時に、タービン暖気用調節弁ドレン配管フランジより蒸気漏れがあることを発見した。増し締めを行ったが、漏れがとまらないためタービン発電機を立ち下げた。

多摩川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
63	1号炉	休炉	H24.1.22	21:41	H24.1.24	7:11	主灰搬出ゲート上段故障が発生した。上段ゲートが開状態のまま、閉とならず、復旧できないため、焼却炉を立ち下げた。
29	2号炉	休炉	H23.8.30	4:12	H23.9.3	12:27	搬送側コンベヤチェーンが立上り部にてレール押さえの上に乗り上げコンベヤが作動しなくなった。
13	1号炉	-	H23.5.13	21:26	H23.5.15	1:12	ゴミバンカーゲート7落口スロープの鉄板が脱落し、投入されコンベヤに引っかかった。
7	2号炉	休炉	H23.4.23	2:03	H23.5.22	1:54	「集じん器出口ガスばいじん濃度上上限」警報が発報した。点検の結果、計器の誤作動がないことを確認し、調査のために焼却炉を立ち下げた。

品川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
55	共通	停止	H23.12.27	13:00	H23.12.29	15:00	12月27日、No.2ごみクレーン手動運転している際、トリップが多発した。動作を注視するとバケット開閉時にトリップすることが判明した。
48	2号炉	休炉	H23.12.1	10:00	H23.12.14	14:16	12月1日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の飛灰の出が悪いとの報告があり、槌打等で閉塞解消を試みた。改善しなかったため、12月3日に第1室を閉鎖して槌打作業を継続したが、回復が見込まれないので炉を立ち下げた。
1	2号炉	休炉	H23.3.28	12:20	H23.4.7	14:11	3月28日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の灰の出が悪いとの報告があり、翌29日より第1室を閉鎖して解除を試みたが復帰しないので炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
64	2号炉	休炉	H24.1.23	10:00	H24.2.7	13:20	減湿水槽からの水漏れが発見されたため、外部からの補修を試みたが状況が改善されなかった。当該部補修のため、焼却炉を立ち下げた。
43	1号炉	休炉	H23.11.15	11:10	H23.11.18	11:31	1号焼却炉後燃焼ストーカ上に鋼材(長さ約4m)を発見したので炉を停止して撤去する。
34	1号炉	休炉	H23.9.21	3:46			第1ボイラダストコンベヤのショックリレーが多発し、ボイラダストの排出が出来なくなった。復旧を試みたが状況が改善しなかったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま定期点検補修に入る。
33	1号炉	休炉	H23.9.17	3:56	H23.9.20	11:27	主灰排出装置で渋滞が発生し、当該装置出口シュートブリッジによる灰の堆積が予想されたため、焼却炉を立ち下げた。
16	共通	停止	H23.5.24	20:30	H23.5.25	3:38	手動運転によるごみバンカ内のごみ積替え作業中に、1ごみクレーンの異常が発生した。そのまま格納を行い点検を行ったところ、バケットシェル1本が破断していた。
14	共通	停止	H23.5.23	2:36	H23.5.27	18:00	ごみバンカ監視カメラの映像から2ごみクレーンの異常が確認されたので、クレーン操作室にて格納を行い点検を行ったところ、バケットシェル1本が破断していた。当時は自動運転(積替作業)中であった。

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

世田谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			年	月	日	時	
70	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20			燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
56	2号炉	休炉	H24.1.4	14:10	H24.1.7	11:04	シールゲートが開かなくなりごみの投入ができなくなったので立ち下げた。
53	1号炉	休炉	H23.12.26	6:12	H24.1.6	11:16	「不燃物排出装置 故障」警報が発報した。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
51	2号炉	休炉	H23.12.17	0:00	H23.12.30	11:29	2ガス化炉下抜出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立ち下げた。
50	1号炉	休炉	H23.12.16	22:30	H23.12.23	12:53	2ガス化炉下抜出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立ち下げた。
46	1号炉	休炉	H23.11.25	15:50	H23.12.3	10:55	「砂循環エレベータ電流値上限」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
39	1号炉	休炉	H23.11.3	5:52	H23.11.5	9:25	「砂循環エレベータ故障」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
35	2号炉	休炉	H23.9.27	17:22	H23.10.4	11:30	スラグランスが流下口内に入ったまま抜けなくなった。引き抜きを試みたが、復旧に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
32	1号炉	休炉	H23.9.8	13:50	H23.9.10	12:07	砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。砂を解除したところ針金等が配管の途中に引っかかっていた。
31	1号炉	休炉	H23.9.6	20:23	H23.9.7	20:03	破砕ごみフラップダンパ上部でごみが詰まって、ごみが焼却炉に投入できなくなった。
4	1号炉	休炉	H23.4.13	22:20	H23.4.25	10:48	ボイラー下ダスト排出コンベヤ故障が発報した。正転・逆転運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を立ち上げて内部点検する。
3	1号炉	休炉	H23.4.1	11:30	H23.4.12	11:14	ガス化炉の流動不良が起こり、流動層圧力の変動が大きくなった。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。

中防 破砕ごみ処理施設

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			年	月	日	時	
30		休炉	H23.9.4	16:33	H23.9.13	15:05	不燃物排出装置Aのサーマルリ-動作したので原因を調査したところ、電動機が焼付いた状態になっていた。
27		休炉	H23.7.27	11:00	H23.8.17	15:00	砂分級装置のショックリ-が作動したので異物を除去したが、除去しきれずに残った異物が障害となって砂循環が維持できなくなったため立ち下げた。

板橋清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

足立清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

多摩川清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

23区「清掃工場故障週報」平成23年度

品川清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
65	2号炉	休炉	H24.2.16	13:00	H24.2.24	15:58	2号細粒灰計量器に湿灰が混入し、計量不能となったため休炉した。

葛飾清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

世田谷清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
58	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30			灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。
49	1号炉	休炉	H23.12.7	11:18	H23.12.9	15:00	「細粒灰計量ホッパー重量PV下限」警報が発報した。現場を確認したところ、細粒灰貯槽切出装置のスクリーコンベアのシャフトが折損し回転不能となっていたため灰溶融炉を停止した。
37	1号炉	休炉	H23.10.13	17:14	H23.11.2	5:00	通常の傾動作業後に現場を点検したところ、炉体点検蓋より水漏れがあった。補修するために休炉とした。
12	1号炉	休炉	H23.5.8	12:57	H23.9.26	21:00	灰溶融炉炉底電極部に赤熱が見られたので確認するため休炉した。

中防灰溶融施設

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
40	3号炉	休炉	H23.11.8	13:00			押込み用空気ファンの軸振動計の値が、運転管理値の上限に近い値のため、振動点検を各軸受けで行った結果、運転限界を超えている事が分かり、故障停止とした。 現在、灰溶融炉は1炉運転中で、次回4号炉が立ち上げ予定のため、3号炉はこのまま休炉とする。